

映像人類学に基づくインドネシアのウェイスト・ピッカーの活動記録

○佐々木 俊介¹⁾、²⁾ ・ 渡辺 浩平²⁾ ・ 荒木徹也³⁾

1) 日本学術振興会、2) 帝京大学、3) 東京大学大学院



背景

ウェイスト・ピッカーをめぐる研究は近年増加傾向しかし、生活実態については不明点が多数存在

目的

映像人類学視点で生活を記録
産学官の人々と情報（映像）を共有

方法

2010年より30回、735日滞在
スラムの自宅（写真3参照）に居住



動画による解説とスマホによる中継

(タブレット)

(タブレット)

(タブレット)

1. 住民の呼び分けに基づく人口構成

表1-2. 住民の呼び分けに基づく人口構成 (社会関係)

No.	英語名	アクター名	インドネシア語名	説明	構成
1	Boss of waste picker	Bos pemulung	ウェイスト・ピッカーのボス	ウェイスト・ピッカーとの取引関係を持っている	6 1.2%
2	Boss of middleman	Bos tengkulak	ウェイスト・ピッカーとの取引関係を持っている仲買人のボス	ウェイスト・ピッカーとの取引関係を持っている	1 0.2%
3	Small boss	Bos kecil	ウェイスト・ピッカーとの取引関係を持っていないウェイスト・ピッカーのボス	ウェイスト・ピッカーとの取引関係を持っていない	29 5.8%
4	Small middleman	Tengkulak kecil	ウェイスト・ピッカーとの取引関係を持っていない仲買人のボスや独立経営の行商人	ウェイスト・ピッカーとの取引関係を持っていない	7 1.4%
5	Live-in follower	Anak buah rumah	ボスが提供する家屋に住んでいる子分	ボスが提供する家屋に住んでいる子分	364 72.2%
6	Live-out follower	Anak buah lapangan	ボスが提供する家屋に住んでいない子分	ボスが提供する家屋に住んでいない子分	69 13.7%
7	Independent waste picker	Sendiri	ボスのグループに属していないウェイスト・ピッカー	ボスのグループに属していないウェイスト・ピッカー	16 3.2%
8	Others	-	非スラムジャンジャー	非スラムジャンジャー	12 2.4%

*表1.5.3.4 登録のつち5.0.4 登録を調査 (現地調査2013)

パトロン・クライアント関係が基調
しかし、関係は緩やか
組織に属さない者も存在
所属先の変更も一定程度発生

2. 収集対象の有価物と収入

表1-4. 収集対象の有価物と収入

有価物名	平均価格	取引単位	持ち帰重量	販売重量	販売単価	収入		
ソフト・プラスチック	5~6	kg	115.5	77.1%	95.3	75.2%	479.9	59.9%
ハード・プラスチック	12~30	kg	15.8	10.6%	14.5	11.4%	183.6	22.9%
ゴム	4	kg	1.9	1.3%	1.9	1.5%	15.4	1.9%
ガラス	350	kg	6.2	4.1%	6.2	4.9%	25.0	3.1%
鉄	120~16	kg	2.2	1.4%	2.2	1.7%	31.2	3.9%
アルミ	70	kg	0.2	0.2%	0.2	0.2%	15.2	1.9%
紙	3	kg	6.6	4.4%	5.2	4.1%	11.1	1.4%
その他	-	注1	1.4	0.9%	1.3	1.0%	34.7	4.3%
合計	-	注2	149.7	100.0%	126.7	100.0%	800.8	100.0%

*全アノ種類の収集対象有価物のうち、表中に示された項目で1%以上を占めるものの有価物名を掲載
*表中に示した価格は1kgあたりの取引単位の平均価格を示す
注1. 有価物により、「kg」「g」「個」など複数の取引単位が存在している。
注2. 仕事内容やボスとの関係により、「日給」「歩合」「報酬」など複数の集積方法が存在している。

プラスチック系有価物が最も重要
収集量および収入の8割以上
ソフトは8、ハードは3種類以上に分類



- ### 3. 主な道具
- ① ピッカー
 - ② 背負いカゴ
 - ③ 荷車
 - ④ 大型PP袋
 - ⑤ レジ袋裂き機

収集



運搬



分別



洗浄と裁断



工場での再資源化

